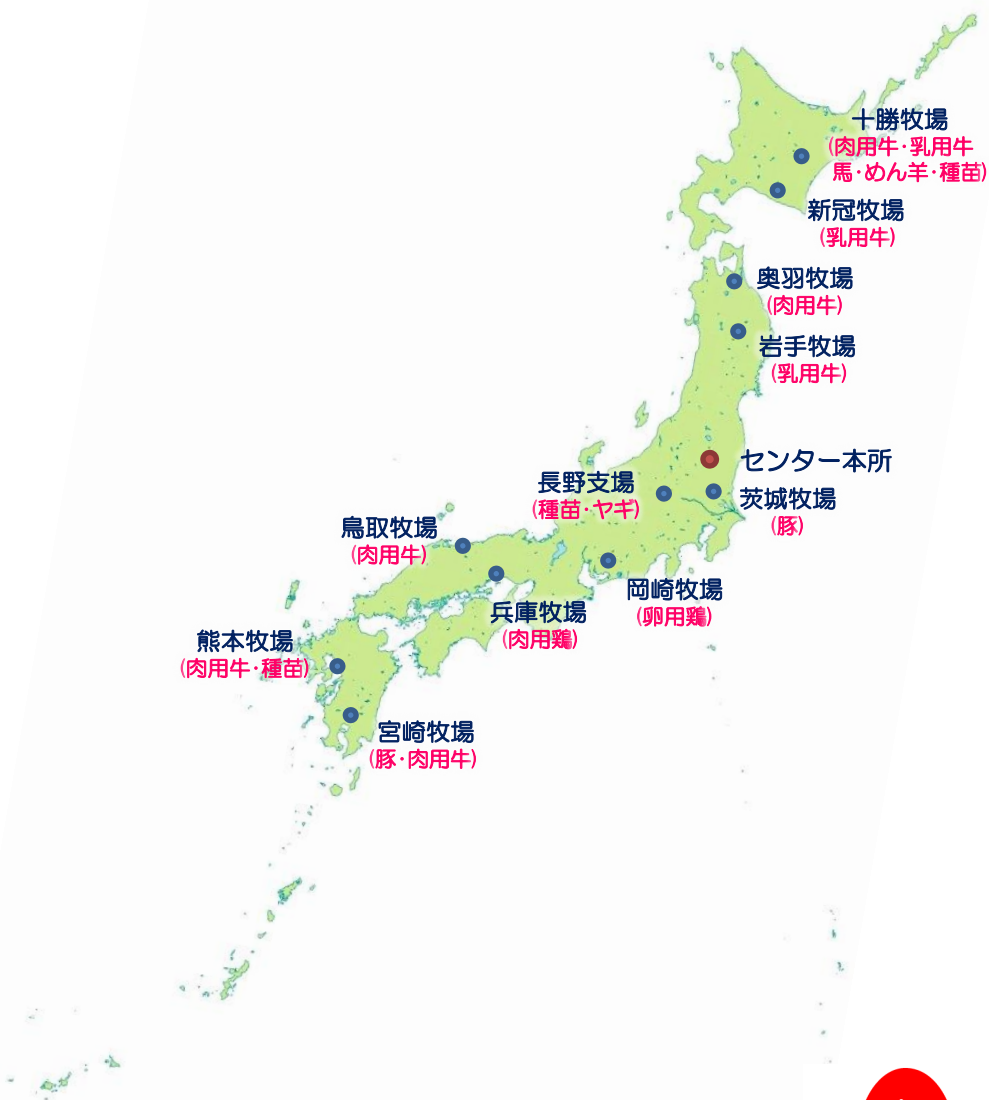


業務紹介
パンフレット
(技術専門職員)

独立行政法人 家畜改良センター

「日本の畜産 改良と技術で育てます」

家畜改良センターは、畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献することを目的とした、1本所10牧場1支場からなる、全国組織の独立行政法人です。



業務について

「小さなタネから大きなウシまで」

家畜改良センターの業務は多岐にわたります。

● 家畜の改良増殖の推進

- ・畜産物の需要の変化に応じた優良な種畜・種さん等の生産・供給
- ・遺伝的能力評価の実施
- ・種畜検査の実施
- ・家畜の遺伝資源の保存



宮崎牧場で作成したデュロック種系統豚「ユメサクラエース」



新冠牧場で生産した種雄牛「NLBC バルサバベツジ」

● 飼料作物種苗の生産・供給と検査

- ・日本の多様な気候に適した飼料作物種子及び種苗の生産・供給
- ・国際的な種子品種証明制度に基づく飼料作物種子の検査・証明



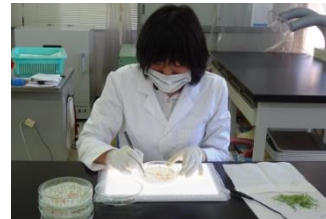
岡崎牧場で作出した「岡崎おうはん」



鳥取牧場で生産した種雄牛「光平栄」

● 畜産新技術の開発・実用化

- ・有用形質関連遺伝子等の解析
- ・食肉の食味に関する評価手法の開発
- ・繁殖関連技術の開発・実用化
- ・飼養管理関連技術の開発・実用化



指定種苗の発芽率検査



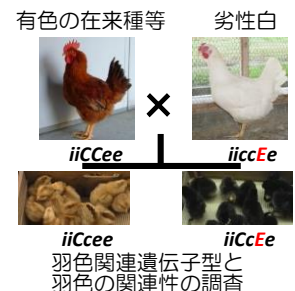
コンバインによる種子の収穫

● 牛トレーサビリティ業務 ● 法律に基づく検査

- ・全国の牛のトレーサビリティに必要な個体識別番号や出生異動履歴などの情報の管理、公表
- ・家畜改良増殖法に基づく立入検査
- ・種苗法に基づく指定種苗の集取・検査



耳標に印字された個体識別番号



● 技術の普及指導 ● 外部支援

- ・開発された技術の生産現場への普及のための研修会の実施、海外技術協力
- ・国内における家畜伝染性疾病や自然災害発生時等の外部支援・協力



飼料自給率向上のための研修会



緊急時における粗飼料等支援

技術専門職員 の業務 について

先輩の声

仕事の内容は、主に家畜の飼養管理、飼料作物の栽培、検査補助など多岐にわたります。配属は、エキスパートとなるべく、家畜改良センター本所を含め全国の牧場の部署に本人の適性や希望等を考慮して、配属されます。配属後は、畜種・業務の専門性の向上を目的とした全国範囲の異動があります。

家畜改良センターの組織運営において必要不可欠な存在！
そのような先輩職員を紹介します！

企画調整部管理課 職員

平成27年度採用

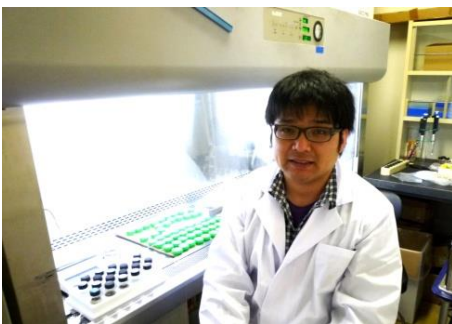


Q：センターを志望した理由は？

動物、植物、自然が好きでそれらに関わる仕事ができると思い、志望しました。勤務地や業務が多岐に渡るので様々な経験することができたり、職員のための休暇制度が充実していたりするのが魅力だと思います。

改良部生産衛生課 職員

平成28年度採用



Q：どんな時にやりがいを感じる？

私は主に家畜の病気の検査や、検疫業務などを行っています。検査業務等は派手な作業ではないですが、飼養家畜の清浄性を守っていただくために責任感を持って業務を行うことにやりがいを感じています。

企画調整部管理課 職員

平成26年度採用



Q：今後の抱負は？

現在採用3年目で豚の飼養管理、繁殖技術等を身につけることができました。まだまだ未熟なところもあるため、今後は更に技術や知識に磨きをかけてテクニカルエキスパート（センター独自の専門性認定資格）を取得し、キャリアアップを図っていきたいと考えています。



最新情報・詳細はホームページをご覧ください <http://www.nlbc.go.jp/saiyo/>

[見学申込み・お問合せ先]

〒961-8511

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1番地

独立行政法人 家畜改良センター 総務部人事課 TEL：0248-25-2759（直通）